

2015年8月4日

三菱日立パワーシステムズ株式会社
三菱重工メカトロシステムズ株式会社
株式会社日立プラントコンストラクション

三菱日立パワーシステムズグループの集じん装置新会社発足の契約を締結
新会社の社名と代表者を決定

三菱日立パワーシステムズ株式会社（MHPS）、三菱重工メカトロシステムズ株式会社（MHI-MS）および株式会社日立プラントコンストラクション（HPC）は、MHI-MS と HPC がそれぞれ手掛ける集じん装置事業を統合し、MHPS グループとして新会社「三菱日立パワーシステムズ環境ソリューション株式会社」を発足させることを決定し、このほど、新会社の準備会社が MHI-MS、HPC とそれぞれ契約を締結しました。取締役社長には大西 昭一（現 MHI-MS 取締役）が就任し、10月1日から営業を開始します。MHPS グループが展開する多様な AQCS（Air Quality Control Systems：大気環境対策システム）事業に集じん装置を加えることで、製品のフルラインアップ化をはかり、AQCS 事業を一層強化していきます。

三菱日立パワーシステムズ環境ソリューションは、新会社の準備会社である MHPS プラント建設株式会社（MHPS100%出資）を吸収分割承継会社として、MHI-MS、HPC の集じん装置事業を承継し、MHPS の 100%子会社として発足します。電気集じん装置を中心にバグフィルターそのほかの関連設備の設計・製造・販売・施工・アフターサービス事業を推進するもので、事業規模約 150 億円の会社としてスタートする計画です。

資本金は 4 億 5,000 万円。本社所在地は神奈川県横浜市で、発足時の従業員数は約 260 名です。

新会社設立は、集じん装置事業の強化拡大に向けた 3 社の思いが一致したことによるものです。MHPS は AQCS 事業として現在、脱硝装置、脱硫装置、ガス・ガスヒーター（GGH）熱回収装置、GGH 再加熱器などを手掛けていますが、これに集じん装置を加え、AQCS のフルラインアップ化を実現します。また、MHPS が持つ海外対応力をフル活用することにより、課題となっていた集じん装置の海外展開を一挙に加速していく考えです。

さらに新会社は、MHI-MS、HPC 両社が持つ産業分野への強みを活用して、電力会社向け以外の分野でも競争力強化をはかるほか、アフターサービス事業も拡充させていく方針です。

■新会社の概要

社名	三菱日立パワーシステムズ環境ソリューション株式会社
本社所在地	神奈川県横浜市
代表者の役職・氏名	大西 昭一（現 MHI-MS 取締役）
事業内容	電気集じん装置およびバグフィルターなどの関連設備の設計・製造・販売・施工・アフターサービス
従業員数	約 260 名
資本金	4 億 5,000 万円
営業開始日	2015 年 10 月 1 日

以上

■本件に関するお問い合わせ先

三菱日立パワーシステムズ株式会社

担当 小野 電話：03-6716-2168（三菱重工業広報部広報グループ）

三菱重工メカトロシステムズ株式会社

担当 小野 電話：03-6716-2168（三菱重工業広報部広報グループ）

株式会社日立プラントコンストラクション

担当 土肥 電話：03-5208-9325（日立製作所ブランド・コミュニケーション本部
広報・IR 部）

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
